

# 決算等特別委員会 質疑内容を一部紹介

条例案6件、補正予算案7件、決算案9件を審査した決算等特別委員会（中野貴徳委員長、議長を除く全議員で構成）の質疑内容を要約して一部紹介します。



## 市税

**質** 市民税の個人、法人ともに落ち込んでいるがどうか。

**答** 景気の動向もあるが、コロナの影響や人口の変動もあり、今後も市民税の大きな増加は望めない。復興事業の縮小により法人も同様と考える。

## 分収林

**質** 分収林については木価が安い、契約書の流失などさまざまな問題があると思うがどうか。

**答** 昨年度から矢作町、横田町、気仙町などで契約などについて説明し、調査をしている。現在は横田の分収林で毎木調査を進めている。気仙町の分収林も本年度内に毎木調査を行う予定である。分収林は契約期間が長く、その間に契約者の代替わりや契約期間が過ぎ

ているものもある。地域の人から以前の契約書を見せてもらい、事情を聴きながら進めている。調査に時間のかかるところはレーザー測量などを取り入れながら進めていきたい。

## マイナンバー

**質** マイナンバーカードの交付実績とメリット、今後の見通しは。

**答** 本市の場合、現在は身分証明書、保険証としての使用に限られるが、今後は、国がデジタル政策を進めるにあたってマイナンバーカードを使う各種行政サービスの仕組みが構築されていく。コンビニでの各種証明書発行は本市の財政面とだけだけの人がサービスの恩恵を受けられるかが不透明なため現在は行っていない。本年度中に引越シワ



マイナンバーカードの休日受付窓口

ンストップサービスが始まることから広報に努めている。

## 電気料金

**質** 市内公共施設の電気料金増について市民への説明が必要ではないか。

**答** 電気料金や維持管理費がどれくらいかかっているかなど、決算のお知らせと合わせてやる方向。どうしたら電気料が安くなるのか、陸前高田しみんエネルギーとも協議し努力していきたい。

## 地域交付金

**質** 地域交付金の継続は。

**答** 当分、各地区500万

円の上限で継続していく。今後も活用する範囲・内容などを検討しながら地域の実情に応じてそれぞれの地域で協議して有効に使ってもらいたい。

## 配食サービス

**質** 配食サービス事業の状況は。

**答** 現在の利用者数は、308人。70歳以上の高齢者世帯に利用されている。配達時に安否確認も行っており、緊急事態にも対応するなど見守りの役割も果たすことができています。

## ピーカンナツ

**質** ピーカンナツ試験栽培の状況は。

**答** 横田町と米崎町に2年前から試験栽培中。今は果樹園芸のプロである業者にも関わってもらっている。今年になって高田町の低地に植えた苗は根の活着率は良いが、盛土の下の地盤があまり良くない状況なので今後もしっかり見守って

いく。まだ品種の選定中なので実がなるのはもう少し先だが、木が育ち、ひとつの景色になれば、本市でピーカンナツを育てているということを観光客や市民に理解してもらえと思う。



ピーカンナツ苗木 (高田町平地部)

## 市営住宅

**質** 市営住宅使用料の減免申請は。

**答** 毎年4月に使用料（家賃）のお知らせとともに家賃減免申請の用紙を同封し通知している。書き方などが分からない場合は、指定管理会社が訪問することもできるので軽減できるかどうかを含めて建設課に相談して欲しい。

## 夢アワード

**質** 「高校生みんなの夢アワード」N高田高校」の事業は。

**答** ビジネスの基本であるミッション、ビジョン、戦略などを学ぶ機会を設け、事業計画を作成するための講義や実地体験、専門家によるアドバイスを行う。平成29年度から継続しているが、高田高校から意義も効果も大きい事業

## 地域ブランド

**質** 地域ブランド化推進事業によりできたお菓子のレシビの活用は。

**答** 市内の菓子店などで共有し、高田のお菓子としての商店でも作れ、販売できるようにしていく。このお菓子を産業まつりでお披露目する計画もしている。

## 男女共同参画

**質** 男女共同参画推進協議会の委員に若い人を加える考えはないか。

**答** 現在、各分野の男女比などのバランスを考えて委員をお願いしている。今後、テーマに応じて様々な形が考えられるので、方法も含めて検討していく。

## ハザードマップ

**質** 新たに作成される津波ハザードマップは。

**答** 本年3月に県が公表した新しい浸水想定に、9月

## 地域資源

**質** 同じ地域資源としてオニグルミとピーカンナツの棲み分けについてはどのように考えるか。

**答** これまでであった地域文化など大切なものは残し、新たに市として取り組んでいるピーカンナツ事業はそれと並行した形で進めていき

い。お土産品などについても同様の考えで対応していく。

## 誂石橋

**質** 気仙川に架かる誂石橋の完成と中学校の通学路の見直しは。

**答** この9月末を完成予定としていたが、資材の調達が遅れたことなどから12月末に完了する見直しとなった。気仙町、矢作町の気仙川右岸の通学路は道路改良が進まず、危険な状態にあると認識している。現地を確認し、安全第一に通学できるよう地域と協議、検討する。  
(担当・大和田加代子、伊藤勇一)



工事中の誂石橋